

共同開催：一般財団法人 北海道文化財保護協会×福島県北海道事務所



文化トークショー！



北海道と福島県の文化交流 2017

9月3日(日) 14:00～16:00

紀伊國屋書店札幌本店 1階インナーガーデン(参加無料)

中央区北5西5-7 sapporo55ビル

江戸時代末期1808年、福島県は北方警備などで北海道に足跡を残し、明治の開拓期には、道内各地に移住し繋がりを築きました。現在は、新千歳空港と福島空港結ぶ定期路線が就航し、来年は210年の節目を迎えます。ゆかりのある方々が歴史や文化を語り、先人への思いを馳せ、福島にまつわる歌を絡めて、復興へのエールをお届けするひとときです。

★コメンテーター：原 一夫氏(一般財団法人 北海道文化財保護協会顧問)

：田中四郎氏(札幌福島県人会会長)

：長谷川 守氏(福島県北海道事務所所長)

★コーディネーター：たかやまじゅん氏(エッセイスト)



〈主な北海道と福島県の繋がり・・・〉



★会津藩の北方警備・陣屋～利尻島・宗谷岬・標茶町などに足跡を残す

○飯沼貞吉～白虎隊唯一の生存者。後に無線電話局開設で札幌に貢献

○原直次郎～白虎隊中隊長の子。苫小牧に渡り産業や学園の振興に尽力



●余市のりんご栽培～旧会津藩士たちが「緋ノ衣」などを導入する

●屯田兵をはじめ開拓で入植し道内各地の発展に寄与し現在に至る



※北海道で食べられている「もも」の77%が福島県産！！